

令和2年3月3日
政策推進室政策推進担当

●第1日程

1. 日時：2月21日（金）19:00～20:30

2. 場所：藤久保公民館 多目的ホール

3. 参加人数：33名（内、議員7名）

4. 質疑応答

・藤久保小学校と他の公民館を一緒にするということが、一般の人が自由に出入りできる施設と小学校を一緒に建てるというのは、セキュリティ等を含め問題があるのではないかと思う。小学校を単独で整備し、複合施設を別の時期に行うといった考えはなかったのか。

⇒小学校と複合施設を一緒に建てる場合でもパターンはある。完全に一緒にする場合と、施設自体が物理的に分かれている場合。まだどういったパターンになるかは決定していない。

・町の年間予算の半分ほど事業費がかかると聞いている。各施設を単独で更新した場合、30億程度と聞いた。若い世代にその負担がかかるわけだから、もっと若い世代にヒアリングをした方がよいと思う。

・防災拠点としての内容がなかった。

・民間施設は何が入るのか。

⇒検討委員会の公募委員にも若い世代の人に入ってもらっている。だが、確かに若い方の声は集まりにくい。町では、MACHI JAMという試みをしており、その中で若い方の意見も聞ける。

⇒防災拠点については、小学校は防災上でも地域拠点であることから、必要な機能は備える考え方でいる。

⇒民間施設は、次年度調査します。

・小学校は耐震補強が済んでいる。その施設を壊してしまうのは勿体ない。改修して使い続ける方がいいのではないか。他の公共施設についても同様。金額についても、示した方がいいのではないか。

・現在の進捗状況は。

・負担はどこがするのか。民間という話もあったが。

⇒複合化の方向で進めている。公共施設マネジメントの中で、町全体の施設で15%の床面積の減少を目標としている。複合化は重複する共用部を削減部に充てられるため、今後の施設更新では必要な方法だと考えている。

⇒進捗状況は、施設の規模を設定している。

⇒補助金などを活用できれば積極的に活用するが、現状児童館等の施設に関する補助金しかない。そのため、払っていく方法としては税金となる。そこで、民間の活力を利用

するなどして、負担の平準化を図るなどの方策を検討している。

- ・耐震補強している施設を壊すというのはよくない。大事に使ったほうがよい。バスの新路線に時間もかかっている。住民が借金を背負うことになる。住民の理解を得られるように進めて欲しい。

⇒藤久保小学校については、平成33年が更新の目途となっており、それに合わせて検討をしている。その更新に合わせて地域拠点化と複合化の検討をしている。バスについてはもう少しお待ちいただきたい。

- ・小学校の更新に合わせて、ついでに周りも新しくしてしまおうというようにしか聞こえなかった。事例で示された施設についても、ハードの中に市の意思が入っていると思う。今日の説明では、町がそこで何をしたいといった考えがなかった。小学校施設の更新であるのに、教育委員会から人間が来ていない。建替えるにあたって、新しい学校教育のあり方などを説明して、そういった理解から施設の説明をするべきではないのか。

- ・施設が複合化しても、管理や運営が今のまま縦割りでは、ほんとに施設をまとめて建てただけになる。役場でも、相談内容によっていろんな課をたらい回しにされる。そういった施設では複合化する意味がない。

- ・図書館についても、今のまま新しい施設に入れるだけで意味があるのか。例えば電子書籍を取り入れるなど、新しいサービスなどを検討していく必要があると思う。そういうソフトのものが見えてこない。

- ・ふじみ野市にも市民団体交流センターがある。そこでは、団体が活動できる拠点になっていて、有料だが必要なものの貸し出しなどが受けられる。そういったどういう使い方ができるかなどといったものを示してもらいたい。

- ・一点豪華主義でもいい。他に誇れるような施設となるなら。そのためにもどういった中身なのか、ソフト面を示して欲しい。

- ・複合化ありきではなく、今ある施設を使いやすくするといった方策もあるのではないのか。各室にプロジェクターを付けて使いやすくするなど。

- ・今の施設を改修することで多くお金がかかる電子化などを進めるなど理由があって複合化するなどといった理由がないのか。

⇒学校を新しくするとなれば、新しい教育方針といったものも併せて検討するし、公共施設の複合化においては、課の垣根を越えた管理の一元化なども検討しなければ複合化する意味がない。本日説明の基本構想では、そこまでの内容は含まれていないため、基本計画のおいて示したいと思う。

- ・藤久保中学校についても、老朽化は進んでいると思うが、藤久保中学校をこちらに持ってくるといったビジョンはあるのか。

- ・えんぱーくについては、吹き抜けが多く、デザイン的にも若い人にうける建物だと思うが、三芳は高齢者の利用が多い施設が多く、仕切られた部屋の利用があると感じる。そういった事例について、参考にすることは良いと思うが、どこを取り入れるかなどは慎重に判断してもらいたい。実際の利用者の意見を聞いてもらいたい。

⇒藤久保中学校については、本事業を検討しているなかで、小中一貫校についても検討した。ただ、グラウンドの不足など条件が整わず実現しなかった。今後公共施設マネジメントの中で、生徒数の推移などから、統廃合などを検討していく。

・藤久保は三芳町の人口の約6割が住むエリアであり、藤久保拠点はその中心となる。そういった意味で防災をしっかり意識した施設としてほしい。

・複合化で床面積の削減を目指すとなっているが、導入を検討する施設が仮に入った場合でも、削減は可能なのか。民間をいれることで収益的にペイするから問題ないという考えなのか。

⇒防災についての検討は、先ほど話したとおり、今後しっかりと検討していく。

⇒民間施設については、町の持ち物でないため、公共施設の床面積には含めない。

・民間を導入することはやめて欲しい。民間は営利目的となるため、有料化される心配がある。公民館法を勉強して検討して欲しい。

⇒要望としてお聞きします。

・三芳町は藤久保だけではない。その他の地域で今後こういった拠点整備を行うのか。藤久保にこのような施設が出来ることで、他の地域からもそういったものを求められることを想定しているか。

⇒地域拠点については、各地域にあります。条件が違うのは、小学校と多くの公共施設があること。そういった事情の違いはあり、全てのところで同じ規模といったことにはならない。

・駐車場が課題と言っていたが、駐車場はどのように考えているのか。

⇒課題と捉えている。増やしていきたいと考えているが方策については検討している。

・藤久保に拠点ができた後、ここに来られない人が出てくる。拠点の施設だけでなくそれを使う人の足、公共交通網の整備をしっかりやるといったことを決めてから、示して欲しい。

⇒公共交通網は、町にとって課題だと認識している。すぐ解決するものではないが、継続して解決を進めていく。

・構想の大きな流れは把握できた。施設だけでなく、その裏にある生活の部分をしっかり理解して、計画を進めてください。

●第2日程

1. 日 時：2月23日（日）10:00～11:20

2. 場 所：藤久保第二区集会所

3. 参加人数：32名（内、議員5名）

4. 質疑応答

・三芳議会の質問の中で、事業費が出ていないとの答弁であるが、いつごろ出るのか。住民として、事業に賛成できるかの判断で、お金の部分は重要だと考える。これから労働人口が減ることで税収も減ってくると思う。そういった状況について、財政的なシミュレーションは行ったのか。

⇒事業費については、来年度概算の算出をする。財政のシミュレーションについては、財務課の方の担当であるため明確なお答えが出来ない。

・施設整備について、まだ新しい施設もある。各々で改修や長寿命化した場合はどうなるのか。

・セキュリティとプライバシー保護について、公民館利用者全員に名前を書かせたりするのか。それを民間に任せた場合、情報が漏れないかなどの不安がある。

・2011年に中央公民館を建て替える話が出た時に、指定管理による活動センターにするか、町の公民館とするかについて議会でも話し合いがあり、公民館とするという結論が出ている。だから、今回の施設でまた指定管理について検討されるのはおかしい。また、公民館の減免規定について、町から示された基準に合わせて各団体がここ2年間努力してきている。新しい施設になることで、そういった基準も変えてとなると、納得できない。

・規模についても、三芳町は小さい町。他の大きい市の施設を真似して立派な施設を建てる必要はない。三芳町には三芳町らしいぬくもりのある施設でいい。

⇒公共施設マネジメントについて、町として複合化をする理由などはチラシで示しているような理由があり、それによって相乗効果など期待している。

⇒セキュリティという面では、小学校と複合施設との間の問題だと考える。扉などで物理的にわけるなど、方策は検討する。先行事例の調査などを行っている。

⇒公民館の指定管理について、中央公民館の当時のお話は把握している。ただ、新しい施設を建てるため、運営の方法について改めて検討を行う。

⇒規模については、町の既存の施設をベースにしているため、他の市の真似をして規模を大きくしていることはない。先行事例の施設の工夫などでよいものは取り入れたいと考えている。町民の方が満足してもらえる施設を検討していく。

・上富やみよし台の人たちが使いやすいように、バスなどを通す予定があるのか。

・民間企業については、どのような業種を想定しているのか。その結果、どの程度の収益を見込んでいるのか。

⇒バスについては、まだ考えていない。公共交通の課題は町としても解決を図っていきたい。車に乗らない人のための道路整備なども含めて、全体で考えていく。

⇒民間企業については、来年度調査する。収益も現在は不明。

・旧郵政宿舎は防犯や防災面で問題となっている。これを放置したままでは藤久保全体では問題解決にならない。買取は難しいとの話が合ったが、定期借地などで活用できないのか。

⇒具体の金額は出ていないが、相場として価格は高くなると考える。今後、話し合いはしていく。

・交流など、施設の方針は示されているが、説明を受ける側としては、具体的な数字を出してくれると分かりやすい。

・小学校と公共施設を同時に整備する必要があるのか。そういった部分についても費用対効果を示して、説明するべきではないか。課題解決をするという意味で、駐車場が不足しているなら立体とか地下とかいろいろ方策はある。

⇒構想の段階で具体的なものを示せない。駐車場の課題なども、財政的な面などを含め検討をしていく。

・公共施設マネジメントの検討から完成まで14年は時間がかかりすぎている。具体的な案がないと

・建て替えの間の代替の施設はどうするのか。

⇒公共施設マネジメントの中に定められている内容であるが、今回の計画が動き出したのは藤久保小学校の更新時期を迎えることがきっかけとなっているため、間に時間は空いている。

⇒複合化のメリットとして、段階整備することで代替施設が不要となる計画も可能となる可能性がある。そういった方策も基本計画では検討する。

・事業費を掲示してほしい。

⇒概算が出た時点で説明します。

・公民館の使用料を減免されている団体が、施設が新しくなることで使用料を上げるのはやめて欲しい。指定管理もやめて欲しい。

⇒意見として伺います。

●アンケート結果 別紙参照

第1日程 21枚（無回答含む）

第2日程 23枚（無回答含む）

●総括（今後の説明会での課題）

- ・事業費を示す。単独整備との比較、効果
- ・防災拠点機能について
- ・町全般を含め、アクセス（交通）について
- ・小学校のセキュリティについて
- ・民間活用について
- ・運営等の方向性について（利用料等）
- ・駐車場について
- ・旧郵政宿舎について